

ねがたびと

題字：降矢玄龍先生

令和5年度 第37回根形公民館まつり 地域の皆様 多くの来観有難うございました！

『つくろう そだてよう 心かよう 根形文化』をテーマに、「令和5年度第37回根形公民館まつり」を開催しました。根形公民館の登録サークル、利用者、地域の皆様、子どもたち等の日頃の学習成果を発表する機会を作るとともに、各種の催しをとおして、地域の交流の場とするべく開催しました。

期日は、令和5年11月4日（10時～16時）と5日（10時～15時）の2日間です。天候にも恵まれ、来観者・発表者・スタッフを合わせた2日間の合計人数は2,222名と、多くの方に来観いただきました。ありがとうございました。

なお、このサークル等の参加団体は、以下のとおりです。

展示部門は27団体。内訳は、陶芸11（陶・彩の会・亜々土・土喜・土楽・形・陶楽・椿・釉・窯・陶芸教室）、絵画8（悠・快心・遊心・イーゼル・パレット・成人絵画教室・花まる絵画教室・子ども絵画教室）、書道2（根形書友会・望陀書友会）、生け花1（優華会）、写真1（写団上総）、その他4（根形保育所・小学校・中学校、和風）です。

発表部門は12団体。袖ヶ浦高校音楽部・タンポポ・ジュニアお箏教室もみじ・篠笛の会・根形小合唱部・上総シニアアンサンブル・DSCシルエット・NESUPOフラダンスレアレア・袖ヶ浦市ジュニアオーケストラ・吟詠雲風会・榎若小勸・根形中吹奏楽部です。

体験部門は11種類。スポーツ吹き矢・インドアカ・カントリーダンス・インドアローンボウルズ・昔遊び・テニス・陶芸教室・油絵教室・料理教室・石膏手形と木工・和風作りです。その他にも、消防車両展覧会・農産物等即売・本のリサイクル市・ヨーヨー釣り・陶芸作品即売・焼きそば販売・パン販売・豚汁販売・飲み物販売・揚げ物等販売・クッキー等販売と、全部で60の団体に参加していただきました。素晴らしい作品の出品や発表、まつりに協力していただいた方々、誠にありがとうございました。



第37回公民館まつりの続き(フォトメモリアル)



オープニング



親子陶芸教室



日本舞踊



テニス体験会



陶芸・写真の展示



フィナーレ

根形小学校で防災学習会を実施しました！

9月1日(金)午前、根形小学校全児童を対象に、小学校と根形公民館共催による防災学習会を開催しました。地震災害を想定し、実際に地震が起こった時の避難のしかたや小学校の体育館が避難所となった時の様子等を知ることを通して、防災に対する意識を高めることを目指して実施しました。

小学校体育館の模擬避難所見学では、市役所防災安全課職員が講師となり、避難所内に設置するワンタッチパーテーション、簡易ファミリールーム、段ボールベッド、マンホールトイレなどを使用して、プライバシー保護や感染症対策、段ボールベッドの寝心地なども体感するとともに、小学校の災害用備蓄倉庫に備えられている備蓄品(かまど、チェンソー、発電機、なべ、非常食、飲料水、保健用品、等)を確認しました。

なお、模擬避難所見学は、1学年15分間隔で体育館に学年別に入場し、見学や備蓄品等の説明を聞きました。子供たちにとって、いざという時の備えになってくれれば幸いです。



簡易ファミリールーム



段ボールベッド



マンホールトイレ

令和5年度「明るい家庭づくりと 青少年の非行防止」標語審査結果

「根っ子の会」では、未来を担う青少年の健全育成を推進するため、小中学生から「明るい家庭づくりと青少年の非行防止」標語を募集しました。

各クラスから選出された作品1点を優秀作品とするとともに、その中から小中学校それぞれ1作品を最優秀賞として選び、根形地区に啓発看板として掲示しています。

今年度の最優秀賞は、次の2点です。

◎小学校最優秀賞（5年生）

「ありがとう 家族をつなぐ 合言葉」

◎中学校最優秀賞（3年生）

「お互いを 気づかう優しさ つながる未来」



予告!

3/9~3/17

(土) (日)

サークル作品展 只今準備中

第18回『根形公民館サークル作品展』を開催するべく、現在、準備を進めています。

日頃、根形公民館で活動している絵画・書道・陶芸・生け花の各サークルにおいて、一年間の創作活動の集大成として、作品が展示されます。

ぜひ、お出かけの予定に入れておいて下さい。



根形中学校で防災学習会を実施しました!

令和3年3月に政府の地震調査委員会から、今後30年以内に震度6弱以上の激しい揺れに襲われる確率は、千葉市で62%と高い数値が示されるなど、千葉県では大地震が起こりえる状況にあります。これらのことから、根形公民館では令和3年度から地域人材育成講座の一環として、学校・家庭・地域が助け合うとともに、子供たちの防災知識・意識の向上を目指した防災学習に取り組んでいます。

今年度は10月20日の午後、「地域の一員として、中学生のできる防災活動」をテーマに、前半は、市原市の元小学校長で宮城県気仙沼市出身の小野寺源彦氏を講師に迎え、自身の東日本大震災での被災体験や学校での実話を映像等で紹介しながら、避難訓練の大切さを説きました。

その後、学年別に分かれて、1年生は避難所設営ベッド・パーテーション作りを、2年生は袖ヶ浦市消防本部の指導による心臓マッサージの基本・AEDの活用法を、3年生は避難所生活において必要なかまどの火おこしと消火活動（水の消化器を使用）を、それぞれ実体験しました。

生徒たちは、真剣なまなざしで講話に耳をかたむけ、体験活動に取り組んでいました。この「防災学習会」での体験が、いつか、どこかの場面で活かされ、将来の実生活に何らかの形で役立ってくれることを期待します。



1年生 避難所設営



2年生 救命講習



3年生 かまどの消火

古墳のはなし③ - 知ってますか？のぞみ野の古墳 -

郷土博物館 西原崇浩

前回は市内の主要古墳を紹介しましたが、今回はのぞみ野団地周辺で見つかった古墳についてご紹介します。

のぞみ野団地

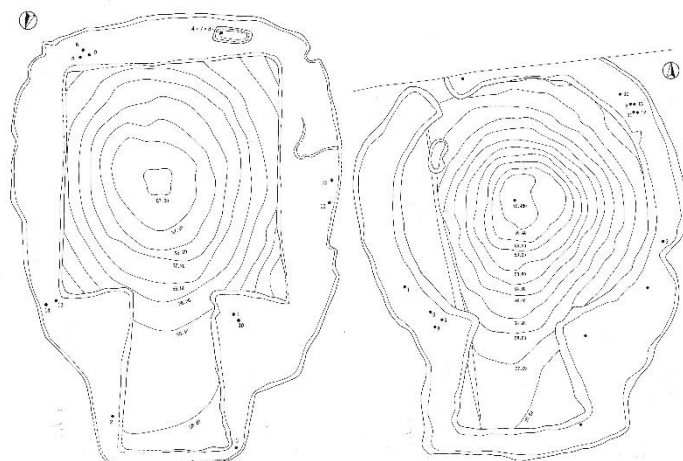
は、昭和 50 年代から開発が始まりましたが、開発に先んじて昭和 50～52 年ごろに遺跡の発掘調査が行われました。

その調査により、のぞみ野団地周辺には弥生時代後期～古墳時代終末期(約 1,800～1,200 年前)までの遺跡があったことが明らかとなり、古墳時代の遺跡からは住居跡や古墳などと共に様々な出土品が見つっています。

今回は、その発掘で見つかった古墳についてご紹介します。

みはらし公園

の周辺では、山王辺田遺跡という弥生時代後期～古墳時代前期にかけての集落跡と 29 基を数える古墳が見つかりました。古墳の多くは、古墳時代後期のおおよそ 1,500 年前ぐらいに造られた丸い古墳(円墳)でしたが、山王辺田 2 号墳と呼ばれる前方後方墳は、約 1,700 年前の市内で古い古墳の一つと考えられています。前方後方墳とは、前方後円墳は鍵穴の形をしています、その鍵穴の部分が四角になっている古墳のことを言います。また、袖ヶ浦で最古の古墳と考えられる山谷



山王辺田 2 号墳 (左) と山谷古墳 (右)

古墳と呼ばれる前方後円墳も見つっています。のぞみ野団地周辺に古墳時代初期の古墳が集まっていることは、古墳時代の始まり頃には袖ヶ浦の中で重要な地域だったと考えられ、このような古墳に葬られる人は、その地域を支配していた有力者だと考えられます。

あけぼの公園

の周辺では、勘左古墳群の調査が行われています。勘左古墳群も後期の古墳と考えられますが、副葬品が発見されています。特に 4 号墳と呼ばれる円墳からは直刀と呼ばれる鉄製の刀と鉄製の矢じりが多数出土しています。

なお、勘左古墳群を始め、のぞみ野団地にあった遺跡や古墳は、調査後にすべて壊されて無くなってしまいましたが、周辺にはいくつかの古墳が残っています。

のぞみのサッカー場

の南側にあるのぞみ野森林公園内には、墓山古墳群として 3 基の古墳が保存されています。発掘調査は行われていませんが、測量した結果などから後期の古墳と考えられています。西側の 1 号墳では、石材が発見されているので、前回の「古墳のはなし②」でご紹介しましたが、神納の雷塚 2 号墳のような横穴式石室をもつ古墳の可能性が高いです。そして、岩井の地蔵寺の北側にも雲塚台 2 号墳が現存しています。雲塚台 2 号墳は径約 35m、高さ約 4m の円墳で、6 世紀前半代の古墳と推定されています。市内の円墳の中では最大級であることから、どのような人が埋葬されているのか興味深いところです。

のぞみ野団地にあった遺跡や古墳からの出土品については、博物館で保管しています。一部は展示しておりますので、ぜひ博物館へお越しください。